

令和 8 年度金沢大学入学者選抜試験

薬学類・高大院接続入試試験問題

小 論 文

[医薬保健学域薬学類]

(注意)

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題紙は本文 1 ページです。答案用紙は 1 枚です。
- 3 答えはすべて答案用紙の指定のところに記入下さい。
- 4 問題紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

病気を治す薬が世にでるまでには、病気の仕組みの解明から、原因となる分子の同定、それに合う化合物やタンパク質などの設計・合成、動物などで安全性を確かめる非臨床試験、ヒトで効果を調べる臨床試験、そして国の承認取得まで、長い年月と多くの費用がかかります。このような創薬プロセスにおいて、生成系 AI*を活用する「AI 創薬」が、医薬品開発のあり方を大きく変革させています。しかし、AI 創薬はまだ発展途上の技術であり、現時点では限界や課題も指摘されています。

医薬品開発における AI 創薬の利点と課題をそれぞれ複数挙げるとともに、生成系 AI と人間の役割を踏まえた上で、AI 創薬のあり方についてのあなたの考えをまとめ、800 字以内で述べなさい。なお、アルファベットや数字も 1 文字とします。

*AI: Artificial Intelligence (人工知能)